

[専門教育関連科目/環境の理解]

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
疫学	NSF31_001	選択	2	3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
藤井 充	306	mitsuru.fujii	水曜日 12:00~13:00		
授業の目的・概要	疫学は、人間集団の健康水準及び疾病予防に関与する要因を明らかにし、地域域の健康水準の向上に役立てる解決方策を探し出すことを目的とする。対面授業（講義）、確認テストにより、この疫学の基本概念、健康事象の把握、分析方法について理解を深める。				
学習上の助言	授業内容に関する質問はメールで受け付けているので、いつでも気軽に質問してほしい。他の受講生にも知らせる必要があるものについては、メール又は講義で情報提供する。				
教科書	看護疫学入門 第3版 大木秀一 医歯薬出版 2020				
参考書	特になし				
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針		
①	疫学の概念と用語について理解する。		HSU (3)、NS (5)		
②	疫学の基本的な指標を理解し、計算することができる。		HSU (3)、NS (5)、NS (6)		
③	疫学的手法の種類や特徴を理解する。		HSU (3)、NS (5)、NS (6)		
④	疫学の実践を理解し、説明できる。		HSU (3)、NS (5)、NS (6)		
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	疫学の概念、疫学の歴史について学ぶ	講義、演習	疫学の歴史から疫学とは何かを理解すること。	4	
2	疫学研究 (1) (疫学研究の分類) について学ぶ	講義、演習	疫学研究にはどんな種類があるか理解しておくこと。	4	
3	疫学研究 (2) (標本抽出) について学ぶ	講義、演習	全数調査と標本調査のメリット、デメリットを整理しておくこと。	4	
4	疫学研究 (3) (疫学研究の方法) について学ぶ	講義、演習	どのような場合にどの疫学研究を応用するのかまとめておくこと。	4	
5	疫学で用いる指標 (1) (頻度の測定) について学ぶ	講義、演習	指標の計算ができるようにしておくこと。	4	
6	疫学で用いる指標 (2) (頻度の比較) について学ぶ	講義、演習	指標の計算ができるようにしておくこと。	4	
7	観察研究 (1) (記述疫学、横断研究) について学ぶ	講義、演習	記述疫学の3要素を使いこなせるようにしておくこと。	4	
8	観察研究 (2) (症例対照研究、コホート研究) について学ぶ	講義、演習	症例対照研究とコホート研究の違いを理解すること。	4	
9	介入研究について学ぶ	講義、演習	介入研究の例を挙げられるようにしておくこと。	4	
10	疫学演習	講義、演習	演習を実施するので、今までの課題を復習しておくこと。	4	
11	システマティックレビューと因果関係について学ぶ	講義、演習	研究方法による科学的根拠の強さの違いを整理しておくこと。	4	
12	交絡因子とバイアスについて学ぶ	講義、演習	疫学研究によるバイアスを整理しておくこと。	4	
13	スクリーニングについて学ぶ	講義、演習	スクリーニングの科学的根拠を理解しておくこと。	4	
14	疫学と倫理について学ぶ	講義、演習	疫学においてなぜ生命倫理が大切なのかを理解しておくこと。	4	
15	疫学と公衆衛生看護について学ぶ	講義、演習	保健所の業務と疫学との関係を整理しておくこと。	4	
試	定期試験、達成度評価・評価のポイント参照				

[専門教育関連科目/環境の理解]

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		60	0	0	0	40	100
総合力指標	知識・技術力	45	0	0	0	20	65
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	0	10
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	20	20
問題を発見・解決する力		5	0	0	0	0	5
評価のポイント							フィードバックの方法
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	マルチプルチョイス形式の筆記試験の正答率で評価				正答率が悪い問題についての解説
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①						
	②						
	③						
	④						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①	✓	毎回の講義の際に課課題の提出状況と正答率を評価				課題についての説明解説
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
備 考							
<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習内容は、講義の進行度によって前後する可能性がある。</li> <li>・対面授業において、席の指定、マスクの常時着用。定期的換気により感染防止に努める。</li> <li>・今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢の変化により再度シラバスの変更がありうるので注意すること。</li> </ul> <p>教員の実務経験：公衆衛生医師として、厚生労働省、保健所等に40年間勤務                      実践的授業の内容：保健所での経験をもとに、看護職として現場で経験する可能性があることを取り上げ理解を深める。</p>							